

全国数学教育学会 平成26年度総会・第40回研究発表会 プログラム  
 (合同開催：近畿数学教育学会 第56回例会)

日時：平成26年6月14日(土)・15日(日) 会場：大阪教育大学天王寺キャンパス西館  
 (大阪市天王寺区南河堀町4-88)

<第1日> 6月14日(土)

開会行事・全数教総会(13:30~14:30) (ホール)

※全数教総会終了後に近数教総会を行います。

ポスターセッション(14:55~15:30) (第5講義室)

※詳細は、プログラムの4ページをご参照下さい。

※1件の研究発表(口頭発表)の時間は25分(発表15分・質疑応答10分)です。プロジェクターは準備しますが、PCは発表者がご持参下さい。

	A会場(第1講義室)	B会場(第3講義室)	C会場(第6講義室)	D会場(第7講義室)	E会場(第8講義室)
1	15:40 A-1 渡邊光(新潟大学大学院生)  社会的構成主義に基づく数学の学習指導に関する基礎的研究：架橋理論の構築に向けた課題  16:05	B-1 玉木義一(鳥取大学大学院生)  分数の学習指導に関する一考察：The Rational Number Projectの理論枠組みをもとに	C-1 生田直子(広島大学教育学研究科院生)  中学校数学科における対話を重視した問題解決の力の育成に関する研究Ⅱ	D-1 緒方友美(大阪教育大学大学院生)  確率学習における形式的・アルゴリズム的・直観的要素の相互作用に関する一考察：直観的要素の質に焦点を当てて	E-1 常安智也(広島大学教育学研究科院生)  「数学的な考え方」に見る我が国の算数教育の歴史的変遷：実践における研究の変容についての一考察
2	16:10 A-2 上ヶ谷友佑(日本学術振興会特別研究員/広島大学教育学研究科院生)  教師の言語的振る舞いが学習者の数学的概念の形成に与え得る影響：関数のミスコンセプションを具体例として  16:35	B-2 米田重和(佐賀大学)  「分数の不思議な計算」を基にした「操作的練習」に関する実践的研究	C-2 平山成樹(広島大学教育学研究科院生)  高等学校数学における探究的な学習活動を促す指導方法に関する研究(Ⅱ)：問題設定の「目標マトリックスモデル」に基づく「数列」の学習指導を通して	D-2 福田博人(広島大学国際協力研究科院生)  我が国の統計教育カリキュラムにおける課題の同定	E-2 中西正治(三重大学)  関数と解析幾何に関する省察
	16:35 16:45 休憩(10分)				
3	16:45 A-3 三野英利(兵庫教育大学大学院生)  算数科授業における創発に関する研究：創発生起を支える創発力の育成について  17:10	B-3 澤田淳(芦屋市立浜風小学校)  活用する力を育てる算数授業	C-3 松本菜苗(埼玉大学大学院生)  日常の文脈に即した問題と数学的シチュエーションとの関連について(2)	D-3 西脇美穂(愛知教育大学大学院生)  数学教育における統計領域の指導に関する研究：「知の創造」に関する生徒の反応傾向の分析から	E-3 森山健(広島大学教育学研究科院生)  リテラシーの視座から見たジョン・ペリーの数学教育観の今日的意義とその限界
4	17:15 A-4 高井吾朗(愛知教育大学)  数学教育における練り上げについての一考察  17:40	B-4 藤田英治(堺市立浅香山小学校)  豊かな心を育む算数教育：子どもの情意面を重視した問題解決的な学習モデルの構築「コピー用紙の秘密」	C-4 平岡賢治(長崎大学)・野本純一(長崎市立式見中学校)  数学の教科書をより有効的に使う力の育成に関する研究(2)：RME理論を手がかりにして	D-4 大谷洋貴(新潟大学大学院生)  否定論を視点とした推測統計への展開に関する研究	E-4 渡辺信(公益法人日本数学検定協会/生涯学習数学研究所)  問題解決と生涯学習

懇親会(18:30~20:30) 会場：ホテルバリタワ大阪天王寺(旧・天王寺東映ホテル)3階

		A会場(第1講義室)	B会場(第3講義室)	C会場(第6講義室)	D会場(第7講義室)	E会場(第8講義室)
5	9:10  9:35	A-5 丸山侑里奈(新潟大学大学院生)  算数教育における数学的モデル化の展開と課題	B-5 岡村安德(鳴門教育大学大学院生)・坂井武司(鳴門教育大学)  算数教育における表現力を促進させるノート指導に関する研究	C-5 後藤佳太(広島大学教育学研究科院生)  数学学習におけるアブダクションに関する研究(Ⅱ):アブダクションの「発見」と「説明」という側面に着目して	D-5 伊達文治(上越教育大学)  ユークリッド幾何学受容の系譜	E-5 稲葉芳成(立命館宇治高等学校)  高等学校に於ける社会調査の解析を意識した教材導入の試み:文系生徒のための統計リテラシー獲得を目指した実践と研究 その1
6	9:40  10:05	A-6 小浦正寛(兵庫教育大学大学院生)  数学的モデル化における事象の幾何学化に関する研究:事象の幾何学化が生じる数学的モデル化教材と授業モデルの開発	B-6 紙本裕一(広島大学教育学研究科院生)  数学学習における聴くことに関する考察	C-6 清水邦彦(立教新座中学校・高等学校)  数学的な表現の移行に関する一考察:数学的な表現の主體的な活用を念頭に	D-6 濱中裕明(兵庫教育大学)・安納秀佳(兵庫教育大学大学院生)・寶田光太郎(兵庫教育大学大学院生)・森邊智美(兵庫教育大学大学院生)  命題と条件に関する教材研究と指導の提言:必要条件と十分条件の指導について	E-6 高木和久(高知工業高等専門学校)  タートルグラフィックスを用いた双方向的な数学教材の作成について
7	10:10  10:35	A-7 阿部好貴(新潟大学)  数学的モデル化の捉え方に関する一考察	B-7 田中雄太(兵庫教育大学大学院生)  算数科における「説明する力」の育成に関する研究:「説明コンテスト」を用いた授業モデルの開発	C-7 ミグダリスキー・ウラディール(京都大学工学研究科)  数学教育におけるオーラルテスト(口頭試験)の役割及び重要性について	D-7 岩知道秀樹(広島大学附属福山中・高等学校)・杉野本勇氣(福山平成大学/広島大学教育学研究科院生)・大滝孝治(広島大学教育学研究科院生)・岩崎秀樹(広島大学)  高等学校における論証カリキュラムに関する教授実験(1)	E-7 高阪将人(広島大学国際協力研究科院生)  理科と数学の関連付けについて:理論的枠組みの構築に向けて
	10:35 10:50	休憩(15分)				
	10:50  12:00	<p>全体会(ホール)</p> <p>〔講演〕 柳本 朋子 先生(大阪教育大学教授) 岩瀬 謙一 先生(大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎教諭)</p> <p>〔演題〕 結び目の数学の学校教育への導入 ー 小学校から高等学校までの教材開発の背景と実際 ー</p>				

昼休憩(80分)

		A会場(第1講義室)	B会場(第3講義室)	C会場(第6講義室)	D会場(第7講義室)	E会場(第8講義室)
8	13:20	A-8 中橋葵(神戸大学大学院生)  幼児児童の概念的サビタイジングの発達の実態	B-8 中西隆(広島大学国際協力研究科院生)  「数学的文化とは何か」についての考察	C-8 長谷川献祐(兵庫教育大学大学院生)  小学校算数科における文字の学習指導に関する研究:文字の理解の枠組みと実態調査を中心として	D-8 酒寄晃(広島大学国際協力研究科院生)  MKT measuresに関する基礎的研究	E-8 平井崇晴(甲南大学 非常勤講師)  思考の図的記述法:簡易自然演繹法の提案
	13:45					
9	13:50	A-9 影山和也(広島大学)  数学的認知におけるジェスチャーと図式の関係	B-9 島田功(日本体育大学)  算数教育における価値観の比較研究: Bishop, Ernestの考える価値観と島田・馬場の考える価値観の比較を通して	C-9 高橋宏明(岡山大学大学院生)  文字式の読みを通して量の変化を捉える理論的枠組みの構築に関する研究: Thompsonの量的推論をもとにして	D-9 渡邊耕二(宮崎国際大学)  数学学力と言語的側面の関連性の国際比較分析: 途上国に注目したPISAの二次分析から	E-9 神崎秀嗣(京都大学ウイルス研究所/大和大学)  医療従事者養成校における数学教育の必要性
	14:15					
	14:15 14:25	休憩(10分)				
10	14:25	A-10 竹間光宏(奈良教育大学大学院生)  数学教育におけるプロセス能力とメタ認知の関連に関する一考察	B-10 Lloyd Munroe(広島大学国際協力研究科院生)  A Look at the Open Approach as Practice in Japan	C-10 新井美津江(広島大学国際協力研究科院生)  図形教育における幼小の接続に関する一考察	D-10 辻本亜希(広島大学教育学研究科院生)  中学校学を高校数学に接続する記号過程の研究: 「傾き」から「タンジェント」への記号変容に注目して	E-10 村上裕一(埼玉県川口市立舟戸小学校)  小中連携の視点に立った算数指導のあり方の研究
	14:50					
11	14:55	A-11 的場大佑(広島大学教育学研究科院生)  数学科における関心・意欲・態度の評価の在り方(Ⅱ):メタ認知的知識による情意の変容	B-11 石井洋(北海道教育大学函館校/広島大学国際協力研究科院生)  ザンビア数学教師の授業実践の変容に関する研究: 授業研究における教師グループの議論に着目して	C-11 大林正法(大阪市立田島小学校)  児童の図形の認識: 直観から論証へ	D-11 服部裕一郎(高知大学)・井上優輝(広島大学附属福山中・高等学校)  数学教育におけるクリティカルシンキングを育成する学習指導の在り方(2): 中学校3年「相似の利用」の授業実践を通して	E-11 西村徳寿(兵庫教育大学連合学校教育学研究科院生)  速さの量化の指導に関する一考察
	15:20					
12	15:25	A-12 早田透(広島大学教育学研究科院生)  数学学習における一般化の機能という研究対象の明確化の試み: 知識の体系化と代数指導に関わる一般化との比較から	B-12 杉野本勇氣(福山平成大学/広島大学教育学研究科院生)  数学科カリキュラム開発を目指すレッススタディの在り方に関する基礎的考察	C-12 風間喜美江(香川大学)  幾何的な豊饒の「図」を顕在させる図形指導	/	/
	15:50					

閉会行事(16:00~16:10) (A会場: 第1講義室)

ポスターセッション(14:55～15:30) プログラム

※ポスター掲示板を準備しますので、発表者は、定められた場所(P1～P14)にポスターを掲示して下さい。

ポスター発表会場(第5講義室)

発表者(所属)		題目
P1	中西隆(広島大学国際協力研究科院生)	日本の昔の遊び 目付絵・目付字—民族数学教材の一事例—
P2	平井崇晴(甲南大学 非常勤講師)	選択科目「和算」の検討 --- 数学と非数学の日本文化 ---
P3	平野年光(関西和算問題教材化研究会)	『和算・算額問題 教材化の研究—京都・妙見堂の算額から—』その1
P4	山本景一(関西和算問題教材化研究会)	『和算・算額問題 教材化の研究—京都・妙見堂の算額から—』その2
P5	池田大徳(広島大学教育学研究科院生)	道德教育との関連を意識した算数科の授業づくりに関する実践研究—第5学年「単位量当たりの大きさ」の新聞づくりを通して—
P6	岡田光未(広島大学教育学研究科院生)	概念形成を促す、自らの考えの語りを重視した算数の授業デザインについて
P7	岸川友飛(鳥取大学大学院生)	数学的記号体系に着目した「式をよむ」ことについての考察
P8	内田豊海(鹿児島女子短期大学)	ザンビア基礎教育における計算方略に関する研究:出題形式による解法の違いに注目して
P9	渡邊耕二(宮崎国際大学)	東南部アフリカ諸国における数学と読解力の関連性について—SACMEQ II・IIIの二次分析から—
P10	大滝孝治(広島大学教育学研究科院生) 他3名	中等教育の前期と後期を隔てる数学的活動の差異
P11	神原一之(武庫川女子大学)	私立女子大学における教員養成のあり方に関する研究—算数科の目的に関する意識調査から—
P12	高井吾朗(愛知教育大学)	中学校統計確率指導におけるメタ認知の役割について
P13	木根主税(宮崎大学)	数学教師の教授的力量形成に関する予備的考察
P14	真野祐輔(大阪教育大学)	数学的帰納法の指導における限量詞の扱いと課題